



おおくす



仲間を、自分を、そしてすべての人を大切に ～人権教育の取組～

①各学級での人権学習

長太小学校では、毎年、11月～1月を「長太小人権期間」として人権学習に取り組み、テーマに沿って自分たちができることを考えています。今年のテーマは『仲間としてつながろう』でした。

11月になると、子どもたちは、児童会が作った人権劇の動画を見て、道徳や総合的な学習などの時間を使い、自分たちのクラスの現状や課題と重ね合わせながら、その解決に向けて話し合ってきました。そして、自分たちは、「〇〇のように行動していこう」と、考えをまとめました。その内容を、12月17日に行われる人権集会で、クラス全員で発表できるように、準備をしていきました。

それと並行して、6年生は12月9日に開催される大木中学校区の人権フォーラムに向けての準備にも取りかかりました。

②大木中学校区人権フォーラム



12月9日(火)、令和7年度の大木中学校区人権フォーラムが、大木中学校で行われました。これは毎年、鈴鹿市内の各中学校区が小・中合同で、人権について話し合う取組です。

今年度も大木中学校の生徒会の皆さんと、箕田小学校と長太小学校の6年生から代表者がそれぞれ6名ずつ参加し、3つの分散会に分かれて話し合いました。校区のテーマは「仲間としてつながる」で、身近に起こりうる「仲間外れ」の事例をもとに、本当の仲間とは何か、本当の仲間としてつながっていくために大事にすることは何かについて、話し合いました。分散会での話し合い後、全体会があり、仲間として



つながるためには、「挨拶・声かけ・普段のコミュニケーションを大切にする」、「あまり知らない子にも積極的に話しかける」、「相手のことを自分事として考える」、「悪口やマイナスとなる言葉を使わない」、「発言に共感する」等々たくさんの意見が出ていました。

③長太小学校人権集会



12月17日(水)、人権集会が行われました。まず、6年生から人権フォーラムで学んできたことの発表がありました。子どもたちは発表の中身をしっかりと理解しようと真剣な表情で聞いていました。

続いて各クラスからの発表がありました。子どもたちは学級で話し合ってきた内容を、分担しながら全員で声を合わせて発表しました。どのクラスも「仲間」としてつながっていくために、学級で意識していくことや、どのように行動していくのかを、大きな声で堂々と発表することができました。

今回の人権集会では、仲間としてつながるためには、「困っている子を放っておかないこと」、「寄り添いながら一緒に考えること」、「積極的に関わりコミュニケーションをとること」、「みんなで一緒に考えて行動すること」などが発表されました。そして、相手の立場を理解するためには、「なりきり魔法」(相手の立場になりきって言動の理由を考える)を使うことが確認されました。それぞれの学級で話し合って決めたことを実践し、ぜひとも本当の仲間としてつながり、お互いのよりよい成長に生かしていったほしいです。



集会の最後に、児童全員による長太小宣言を行いました。今年の人権宣言は、「なりきり魔法を使って



なりきりまほうを使って
いっしょに考動 できる
仲間 になります

いっしょに考動できる仲間になります」に決まりました。昨年の宣言とほぼ同様のフレーズではありますが、行動が考動に変わったことで、考えて動くという意味合いが強くなりました。

長太小宣言は、校舎玄関を運動場側から入った正面に掲示してあります。

1年生の皆さん、ようこそ！おもちゃランドへ ～2年生おもちゃランド～



パタパタカー

11月19日(水)、2年生が、「おもちゃランド」へ1年生を招待しました。2年生は、図工や生活科の時間に、身近な材料を使って、おもちゃ作りに取り組んできました。楽しく遊ぶおもちゃをたくさん作り、自分たちで楽しんだ後、この楽しさを1年生にも体験してもらおうと、生活科の時間を使って、おもちゃランドづくりに取り組みました。それぞれどんなおもちゃを担当するのかを決めて係を分担し、6つのコーナーを作りました。

2年生は、「どうやったらうまく説明できるかな」、「どんなルールを作ろうかな」、「どうやって楽しんでもらおうかな」等、自分たちでたくさんのことを考えながら、おもちゃランドを完成させていきました。

当日は、やや緊張気味の1年生を迎え、うまくできるか心配なこともあったようですが、会場は次第に楽しい雰囲気に包まれ、みんなで思い切りおもちゃランドを楽しむことができました。おもちゃランドを作るにあたり、保護者の皆様には材料の提供などご協力いただきありがとうございました。おかげで1年生、2年生ともに、楽しい活動ができました。



しゃてき